

次の試合へ準備のホイッスル (指導育成副部長 北村修一)

次回発行 1月予定

「試合終了のホイッスルは、次の試合に向けて準備をするキックオフの笛でもある。」という話を若い頃に聞いて感銘を受けました。これは、チームや選手だけに言えることでなく、笛を吹いている審判員自身にも当てはまる言葉ではないでしょうか。ゲーム中には、思うようにいかないことや失敗が付き物です。それらの経験を省察し、改善を図り、以後の割当てられた試合に活かしていきたいものです。その積み重ねがレベルアップを生み、指導育成部審判員の大きな目標である2級審判への道も拓けてくると思います。

実りの秋となるべく、また本人にとっては今まで培ってきた力を試すべく6名の方が今秋に昇級試験にチャレンジします。その方々の健闘を祈ると共に、これに続く審判員が多く出てくることを願っております。皆さんで大阪を盛り上げましょう！



酷暑の2010年は審判員にとって厳しい夏となりましたが、そんな中で指導育成部の審判員の皆様には精力的に各種研修会に参加頂きました。本年度の神鍋研修大会は、兵庫、京都より夫々3名の審判員に参加頂き、他府県の審判員やインストラクターとの交流も図って頂きました。

神鍋少年サッカー研修会(8/20~22開催) (3級審判 兼松春奈氏)

私はこの研修会に二日目から参加させていただきました。この研修会には大阪の方だけでなく、京都や兵庫の方も参加されるということを知っていたので、たくさんのレフリーの方を見ることができ、学べるのではないかと思いました。



開会式の風景



参加審判員の集合写真

二日間で三試合主審を務めさせていただき、一試合ごとにインストラクターの方から指導を受けました。私の一番の良くない点は姿勢についてでしたが、そのせいでどんなジャッジでも自信がないように見えてしまいました。

もう一点痛感したことは、主審を務めている私が運営面についても自信を持って判断しなければならないということでした。試合は炎天下の中開始されましたが、試合中に雨が降り始め、それにも拘わらず飲水タイムを取った為でした。ベンチの方からはいらないという声がありましたが、どのような判断をすれば一番良いのかということ素早く考え、自信を持って行動に移さなければならないことを学びました。

指導育成部合宿研修会(8/28~29開催) (3級審判 平野力氏)

[1日目] 体力テスト、筆記テスト、本年度競技規則改正解説、講習(グループワーク)

[2日目] 全国高校選手権大阪予選1回戦、主審の実技研修

光陰矢の如し。指導育成部にお世話になり、早くも1年が経過しました。合宿研修会の参加は、今回で2回目です。初日のインターバル走(150m×16本)は、猛暑の中、序盤ハイペースで走ってしまい、終盤になってリタイヤしそうになりましたが、指導者の方に伴走していただいたおかげで、目標の時間内に全て走りきることができました。

2日目は、布施北高校と明星高校との試合のレフェリーを担当させて頂きました。争点にできるだけ近づこうと頑張りましたが、猛暑のため体力を消耗してしまい、満足のいく運動量でなかったのが反省点でした。現在48歳なので確かに焦燥感がありますが、実践と反省の繰り返しの中で、自己研鑽を重ねることで充実感に浸ることもあります。同じ目標を持つ良き仲間と熱心な指導者の方々に支えて頂きながら、日々審判活動ができることに本当に感謝しています。自分の夢である銀色のワッペンをいつか左胸につけることができるように、これからも指導育成部の皆さんと一緒に成長していきたいと思えます。



中川部長による講義



体力テストの風景



講義を受ける審判員

指導育成部今後の予定

- 11/18(木)
月例勉強会(大阪協会)
- 12/16(木)
月例勉強会(大阪協会)
- 1月未定
指導育成トレセン(南津守)